

放送日 2011年9月22日～10月5日

「東海地震にそなえて 今週のワンポイント・アドバイス」

いつおこるかわからない「東海地震」。情報から隔離されやすい外国人の被害を少なくするために、地震の被害から身を守る方法や、事前の準備、地震直後にとるべき行動など、外国人の皆さん一人一人に知ってほしい防災情報をお伝えするコーナーです。

25. 災害時の携帯電話活用法

地震や台風など大きな災害が起きると、携帯電話を使う人が増え、つながりにくくなります。もし、「つながりにくくなっています」というアナウンスが流れたら、各携帯会社が用意している「災害用伝言板」を利用しましょう。

災害用伝言板とは、相手の電話番号などを入力すると、その人の安否情報を確認できるサービスです。被災地にいる人は、自分の携帯電話から災害用伝言板にアクセスし、「無事です」などと100文字以内のコメントを書いておくと、携帯番号を知っている人は誰でもその人の安否を確認できます。現在、対応している言語は日本語と英語です。毎月1日、15日、防災週間(8月30日～9月5日)、防災とボランティア週間(1月15日～21日)、1月1日正午～3日午後11時は、災害用伝言板の体験サービスを行っています。

もし、「圏外」になってしまった場合は、携帯の電源を切りましょう。圏外の状態では、携帯が基地局を探そうと何度も電波を出すため、電池が早く消耗してしまうからです。電池を長持ちさせるために、できるだけ電源を切り、必要な時だけ電源を入れるようにしましょう。電池が切れてしまったためのために、できればコンビニなどで販売されている電池パックを非常用持ち出し袋に準備しておくといでしょう。